

会 議 録

会議の名称	第10期7月期 小金井市地域自立支援協議会 合同部会
事務局	福祉保健部 自立生活支援課、小金井市障害者地域自立生活支援センター
開催日時	令和8年7月16日（木） 午後7時10分から午後7時40分まで
開催場所	前原暫定A会議室
出席者	【委員】※ 発言のあった参加者のみ記載 浅野貴博委員（会長、障害者支援施設検討部会会長）、荒木浩委員（副会長、社会参加・就労支援部会会長）、金塚恵美子委員（相談支援部会会長）、荒井委員（相談支援部会） 【事務局】 自立生活支援課長 自立生活支援課障害福祉係長 自立生活支援課相談支援係長 小金井市障害者地域自立生活支援センター
会議内容	第10期 7月期 小金井市地域自立支援協議会 合同部会のとおり

(会長)

小金井市地域自立支援協議会合同部会を開催します。

まず、

第10期として初めての合同部会ですので参加者の皆様に簡単にご挨拶をお願いしたいと思います。

会長を務めさせていただきます、武蔵野大学の浅野です。前回、この第10期の会長として皆様から選出していただき、その時にもご挨拶させていただいたと思いますが、いわゆる学識経験者という枠で引き続き第10期も委員をさせていただいております。小金井市の地域については、現場の支援者として、親の会のメンバーなどとして、それぞれのお立場で支援に携わっている皆様の方が小金井市の実情をわかっておられると思っております。今回は、専門部会としては今期初めての開催でしたけれども、各部会でも活発な議論をしていただいて、ぜひ皆様にご協力をいただければと思っております。

続きまして荒木副会長お願いいたします

(委員)

今期自立支援協議会の方の副会長ということで、拝命致しました、荒木と申します。普段国立で、広域の就業・生活支援センターで仕事をしております。

今期は、社会参加・就労支援部会の部会長をさせていただくことになりました。

就労支援に関しては、皆さんご存知の方も多いかもしれませんが、国の政策としては、就労や社会参加を政策として推進しているところであります。

その中で令和7年に関しては、就労選択支援の話を主に取り上げてきたわけですが、引き続きそれらをもとに社会参加、就労をすることの推進ができるような会議にしていければいいと思っております。よろしくお願いいたします。

(委員)

相談支援部会長を拝命しまして務めさせていただきます金塚と申します。

私は普段、地域生活支援センターそらで地域活動支援センターⅠ型と相談支援専門員をさせていただいております。

自立支援協議会は第9期から参加しているので、2期目になりますけれども、こういった部会長を務めることは初めてなので、慣れないことも多く、お聞き苦しい点があるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(会長)

次に、それぞれの部会の活動報告を行います。

初めに障害者支援施設検討部会の協議結果についてご報告させていただきます。本日の施設検討部会ではまず次の計画の策定に関する説明と意見の交換を経た後に、これまでの施設検討部会における協議の内容を振り返りまして、併せて市の中で現在この施設の建設に関する課題がどのように取り扱われ、進捗してい

るのかについて、事務局のご担当からご説明をいただきました。

施設検討部会では、第 9 期の協議の中で今後の施設建設に際して、参考となりそうな施設をいくつかピックアップし見学を 4 ヶ所行い、私もその内の 3 ヶ所見学に行かせていただきました。その中で、委員としても施設建設を進める上で各地域に共通した一般的な課題、施設を建設した後の運営に関して生じてくる様々な具体的な課題や、その課題をできるだけ少なくするために、建設の際に留意すべきことなどについてヒントを得てきました。

大変学びの多い施設見学の手機を提供してくださり、調整してくださった事務局に改めて感謝申し上げたいと思います。

このようにして様々な施設の見学を通じて得た多くの知見から、委員の間でも活発な協議が行われまして、小金井市で施設を建設するとしたら必要となる機能や望ましい事業のあり方などについて協議を進めてきました。こうしたこれまでの協議を踏まえて、本日の部会では、今後の施設誘致の基本的な考え方について先行している自治体の具体的な例として世田谷区の施設誘致方針などをご紹介いただきました。

具体的な建設についてはまだ不透明な部分が多いのでわからない部分もありますが、協議会として各参加者の意見が一致した内容を最大公約数として何らかの形に残していくことが、目指すところだと思いました。

事務局から最後に、第 9 期ではそのように施設見学をして、こういった機能があるといいとか、地域に開けた施設が必要だなど、いろいろな意見が出たのですが、一番ネックとなっているのは土地だということで説明をいただきまして、各委員から前向きな話がでました。

施設検討部会からは以上になります。

事務局から何か補足はありますか。

(事務局)

大丈夫です。

(会長)

続きまして荒木委員より社会参加・就労支援部会の報告をお願いいたします。

(委員)

社会参加・就労支援部会ですが、前期の第 9 期は、就労選択支援について協議を重ねてまいりました。

就労選択支援っていうのは新しいサービスで、働くことを選択していくような支援サービスですが、昨年始まったばかりの制度でして、まだこの小金井市には残念ながらまだ事業所がないという実情があります。

そういったことを踏まえて今後どのような形で社会参加、就労の実現をしていくのかを考えられるようにしていきたいということで、計画では 3 年後に就労

選択ができるといいというような計画を今後検討していく形になると思っています。

今日お集まりいただいた皆さんは、前期に引き続き参加されている方ばかりではなく、今日は市のこれまでの経過についてお話いただきました。次回以降、協議の期間は短いですが、少しでも就労の実現を目指すような形に持っていけるといいと思っています。事務局から補足があればよろしくお願いいたします。

（事務局）

特にございません。

（会長）

続きまして、相談支援部会の会議結果について、部会長から報告をお願いします。

（委員）

相談支援部会では、第9期において自立支援協議会と相談支援事業者で構成される相談支援事業所連絡会との有機的な繋がりを作っていくということを中心に、その課題や現状の整理などに取り組んできたところです。

まずは小金井市の置かれている現状の分析というところで、相談支援事業所の参加者の方を中心に、本市におけるサービスの提供情報を確認していったのですが、どの業界にも共通して、社会の課題となっているように、障害者福祉の現場においても、物価高と人件費の高騰や、人手不足が深刻さを増している状況が明らかとなりました。

さらに今期は他の部会でも話題になっているように、計画の策定期間にあたることから、今回、国の指針で示された各自治体で新たに目標に加えるべきとされた事項や、各事業の意味する内容などについても、新しい事業や制度などが盛り込まれていましたので、事務局からどういったものなのかを説明していただき、今後どのような形で実現を目指していくのか方針について説明をいただきました。この中で、望まないセルフプランの件数把握というものがありました。その「望まない」について質問が多く出ました。

実際は、相談支援を使いたいのに使えないという事に対し、望まないという言葉が使用されているところは適当ではないのではないかという意見も出ました。

また部会としては、第9期からの引き継ぎ事項として、このような状況にあって、各事業者がどのような運営を行い、何が課題となっているのか、課題を克服するためにどのような工夫をしているのかについて、アンケート調査を実施しようとする事になっておりましたので、実施に向けてどのようなことを尋ねるといいのか話をしました。望まないセルフプランの件数把握について、現在市では確認ができていない状況もありまして、セルフプランをされている方にアンケートを実施していくという話がありました。

事務局から補足があればお願いいたします。

(事務局)

事務局です。

今回配られた資料3の28ページをご覧くださいと思います。

こちらの自発的活動支援事業のところに、括弧にピアサポート災害対策孤立防止活動等と書いていますが、今日お越しお越しいただいております荒井委員のから、聴覚障害のある方の災害対策についてご意見をいただいたところでございます。今、直接委員ご本人がこういった話をしましたということでご報告させていただきますので、荒井委員からご発言いただければと思います。

(委員)

ありがとうございます。

災害対策について発言をしました、荒井と申します。

災害対策というイメージは被害を少なくする、災害が起きたときの対応、安否確認等というイメージをされると思いますけれども、一番大事なことは、災害が起きた後、その復興だと思います。

家の中にいたり、在宅で逃げられない方がいたりしたときに、聞こえない人だけではなく障害者全員、見えない方、知的障害の方、いろいろな方、きちんとその情報が獲得できるか、情報アクセシビリティがきちんと保障されているのかすごく不安です。

自発的支援活動ということで当然、私達の団体は自分で考えてやってく、動いていくということですが、市として支援をどうしていくのか。

またもう一つ、復興のとき、大きな災害となると例えば1ヶ月避難というようなことも、起きないことがもちろんいいですが、そのときの相談支援をどうしていくのか、私達障害者だけでは難しい面があると思うので、皆さんと一緒に考えていきたいと思い、先ほど発言をさせていただきました。

(事務局)

こういったご意見をいただきましたのと、近江屋委員から社会福祉協議会で引きこもり対策の事業をやっており、そこで関係機関の連携についても深化させていきたいということでお話がありましたので、それについても話し合いが行われました。

事務局からは以上になります。

(会長)

ご報告ありがとうございました。

続いてその他になります。何かあればお願いいたします。

よろしいでしょうか。

では、事務局から何かあればよろしくようお願いいたします。

(事務局)

特にございません。

(会長)

ありがとうございます。

皆さん、毎回とは言いませんけれども、もしお時間が許すようであれば今後も来ていただけると、ありがたいと思います。

これで本日の会議で予定されていた協議は全て終了です。

次回は9月17日木曜日、場所と時間は本日と同じです。

専門部会の後、全体会となります。皆様お間違いないように次回お越しください。

本日はお忙しい中、これだけの暑い中お集まりくださってありがとうございます。